

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.190)

1. 令和2年「年賀式」を開催

1月6日(月)に、令和2年年賀式を開催しました。

式には、当社及び運転会社の社員合わせて130名余が出席し、青木所長からは、「令和2年度は、処分期間の令和3年度末を全うするための1年前であり、期限内処理に向けて重要な一年となる。行政との連携を一層高めてPCB廃棄物の総ざらいを行い、着実にPCB廃棄物の処理につなげていく。また、PCB処理事業は、地元の皆さんの信頼を基盤としている。健康第一、環境と安全を最優先に事業所一丸となって取り組んでいこう。」との訓示がありました。

運転会社の田中社長からは、「PCB処理事業も終盤となり、運転会社も転換期を迎えている。このため、新しいことにもチャレンジする年にしたい。」等の訓示がありました。

式の最後に、運転会社の運転部長による号令のもと、参加者全員で「ゼロ災でいこう!」「よし!」の掛け合いコールを実施し、令和2年の無事故無災害を祈念しました。



2. 普通救命講習(心肺蘇生法とAEDの使用)を実施

当施設では、万が一に備え3階と5階にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。いざという時には迅速かつ適切な救命行為とAED操作が必要となるため、誰もが対処できるように、当社と運転会社の社員は2年に一度救命講習を受講しています。



今年度は、豊田市南消防署から講師(市民インストラクター3名)を招き、1月に延べ91名が4回に分けて、普通救命講習を受講しました。

講習の内容は、①心肺蘇生法[傷病者の反応確認、119番通報、胸骨圧迫(心臓マッサージと人工呼吸の組合せ)等] ②心肺蘇生法を行いながらAEDを使用する実技訓練を実施しました。

3. 豊田PCB処理事業部会について

1月17日(金)に令和元年度第2回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。

この部会は、4名の学識経験者で構成され、処理にかかる安全性及び確実性の評価等を審議しており、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとしてご意見をいただいています。

当事業所から、令和元年12月末時点におけるPCB処理状況廃棄物の処理状況、環境モニタリング状況、長期処理計画、内部監査の結果についてご報告いたしました。

保管事業者の皆様から当社に登録していただいた物のうち、PCB油を含む変圧器やコンデンサーは9割以上を、廃PCB油は8割以上処理を完了しております。また、PCB廃棄物の入っていた保管容器は7割ほどを処理しております。



そして現在は、廃PCB油と保管容器の処理が増加傾向にあることを報告しました。また、環境モニタリングについても、良好な測定結果であることを報告し、委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理が順調に進んでいるとの評価をいただきました。

また、今回の事業部会を最後に交代される委員の方より、「立上げ当初はいろいろ大変だったが最近は安定をしており安心をしている。このまま最後まで進めてほしい。」との挨拶をいただきました。

4. 産業医による健康講話を聴く

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的 to 実施しており、本年度第3回目を昨年12月24日(火)に開催しました。

今回のテーマは「免疫力を高める方法」でした。

- ① 質の良い睡眠が免疫力を高めるため、入眠前の刺激物・光刺激は避ける。
- ② 41℃で15分、40℃で20分程度の入浴。
- ③ 食事はバランスよく。
- ④ ストレス軽減には笑いがよい。
- ⑤ 激しい運動は控えて、運動負荷はほどほどに。

これらを行うことで免疫力を高められることを学び、また程よい運動も体験しました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

